



**Wonder LAB Osaka**  
**Oct, 24, 2018 (Wed)**

# **Co-learning Business School**

(カラーニング・ビジネス・スクール)

**株式会社Co-learning**  
代表取締役 竹枝 正樹

共有用資料

2兎を追うのではなく

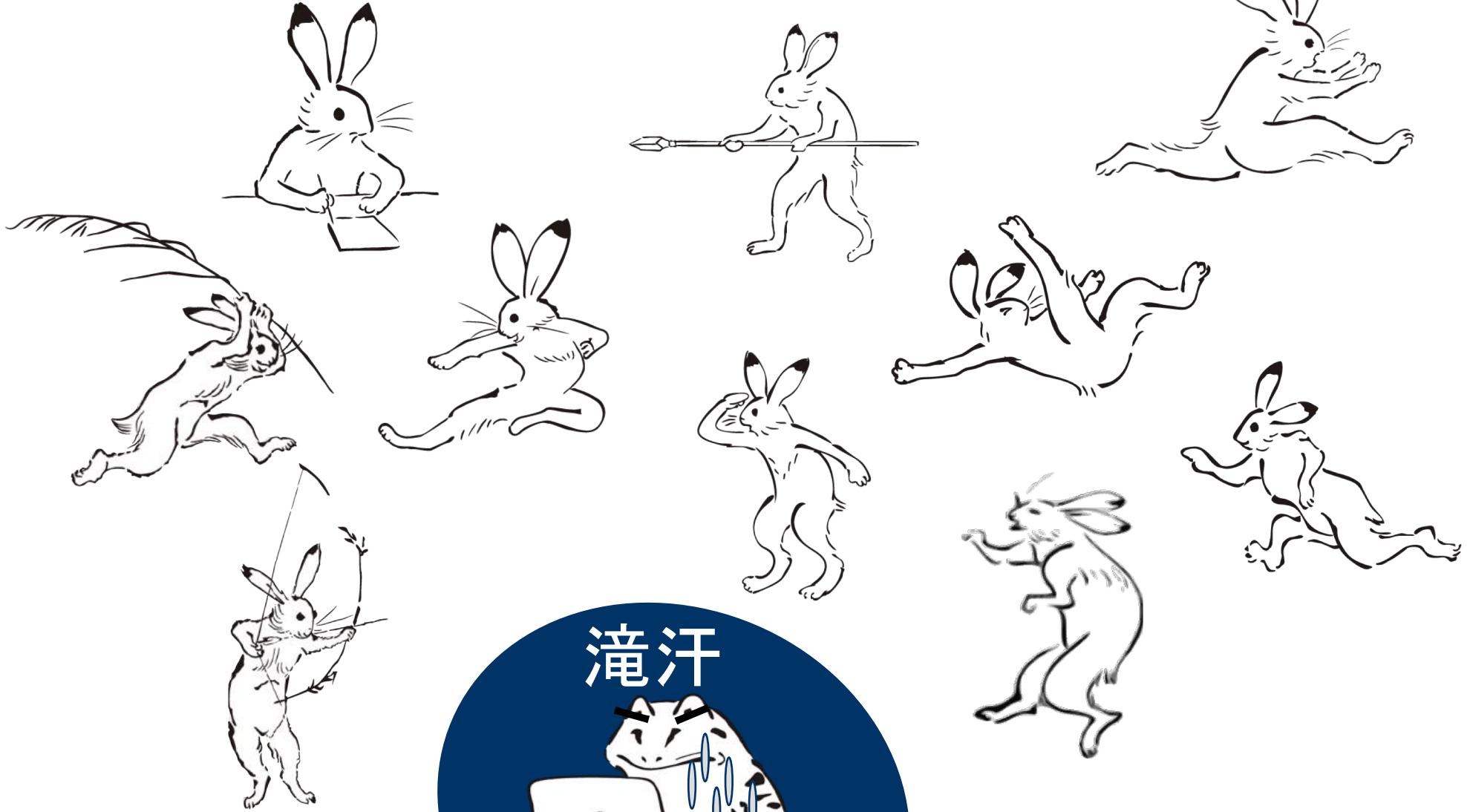
10兎を追い

2兎くらいを得る

ココロモチ



# 2兔を追う者は1兔も得ず



10兔を追う者は...



当然に1兔も得られません

# 10兔を追って2兔くらいを得るとはどういうことか？



- 曖昧でも良いので、まずは『自分が大切にしている考え方・想い』をボールに込めて遠くに投げてみる\*  
\_\*「念頭に置く」や「考え方の軸として持つ」などのニュアンスです
- そのボールを追いかけていると、勝手に10兔くらい見えてくる、その中から獲りたい兔をとれば良い
- 結果的に、投げたボールに届かない、見失っても構わない
- 本気で取り組んでいれば、また新しいボール(想い)が出てくるので、それを投げれば良い

(※「兔」=仕事のチャンスやチャレンジ機会を表す比喩表現です)





私が実践しているキャリア理論(後付け)

# 計画された偶発性理論 (Planned Happenstance Theory)



1. 好奇心(面白い、興味を持ったなら)
2. 冒険心(とにかくやってみよう)
3. 楽観性(失敗しても大丈夫)
4. 持続性(納得いくまでやりきって)
5. 柔軟性(こだわらない、ダメなら諦める)

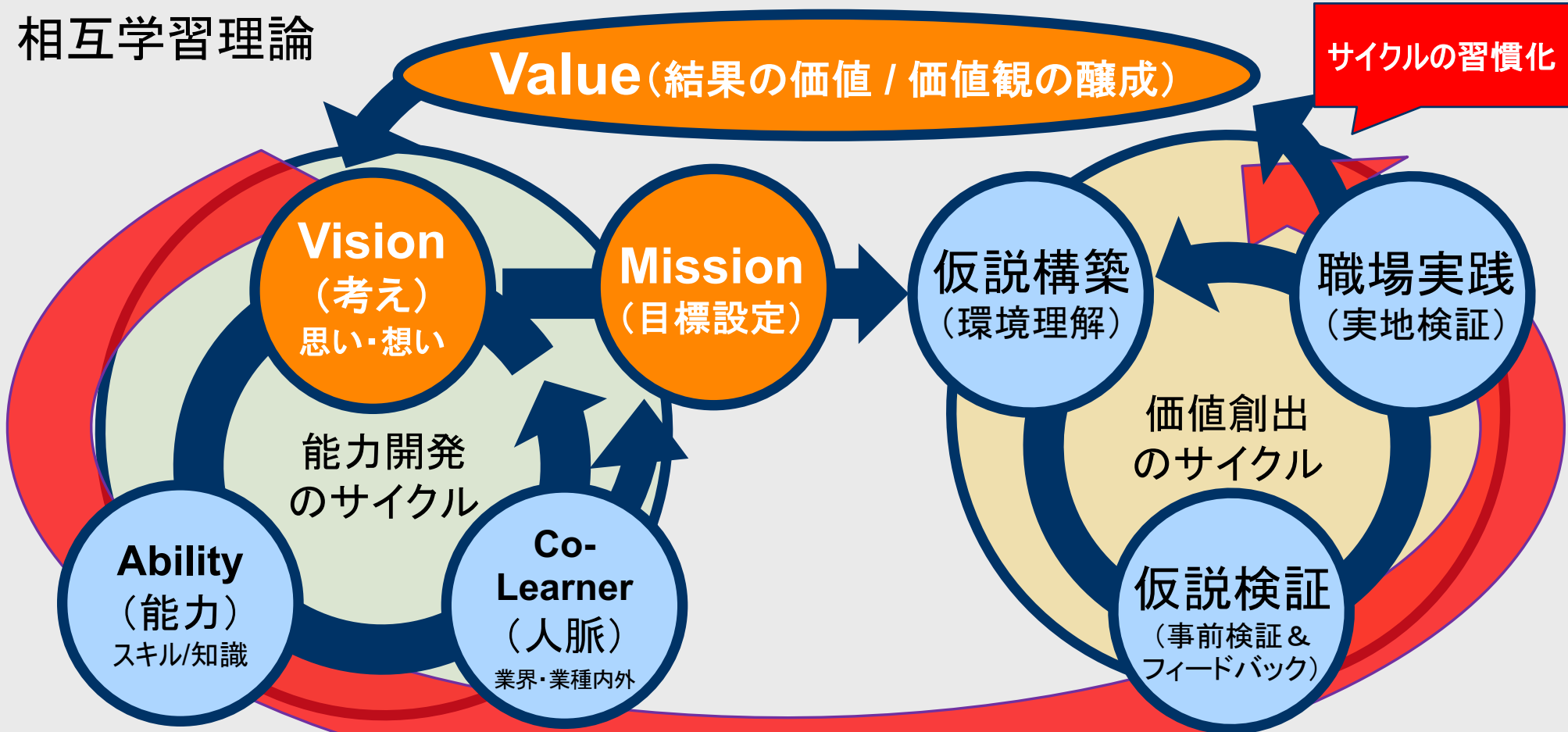
( John Krumboltz : Stanford University, USA )

**「目的」**をもって**「目の前ことに本気」**



# できるビジネスパーソンがやっている行動習慣（共通項） ～ **Co-learning** = 相互学習理論の全体像

相互学習理論



（「できるビジネスパーソン」とは）  
**「相互学習理論が習慣化している人」**



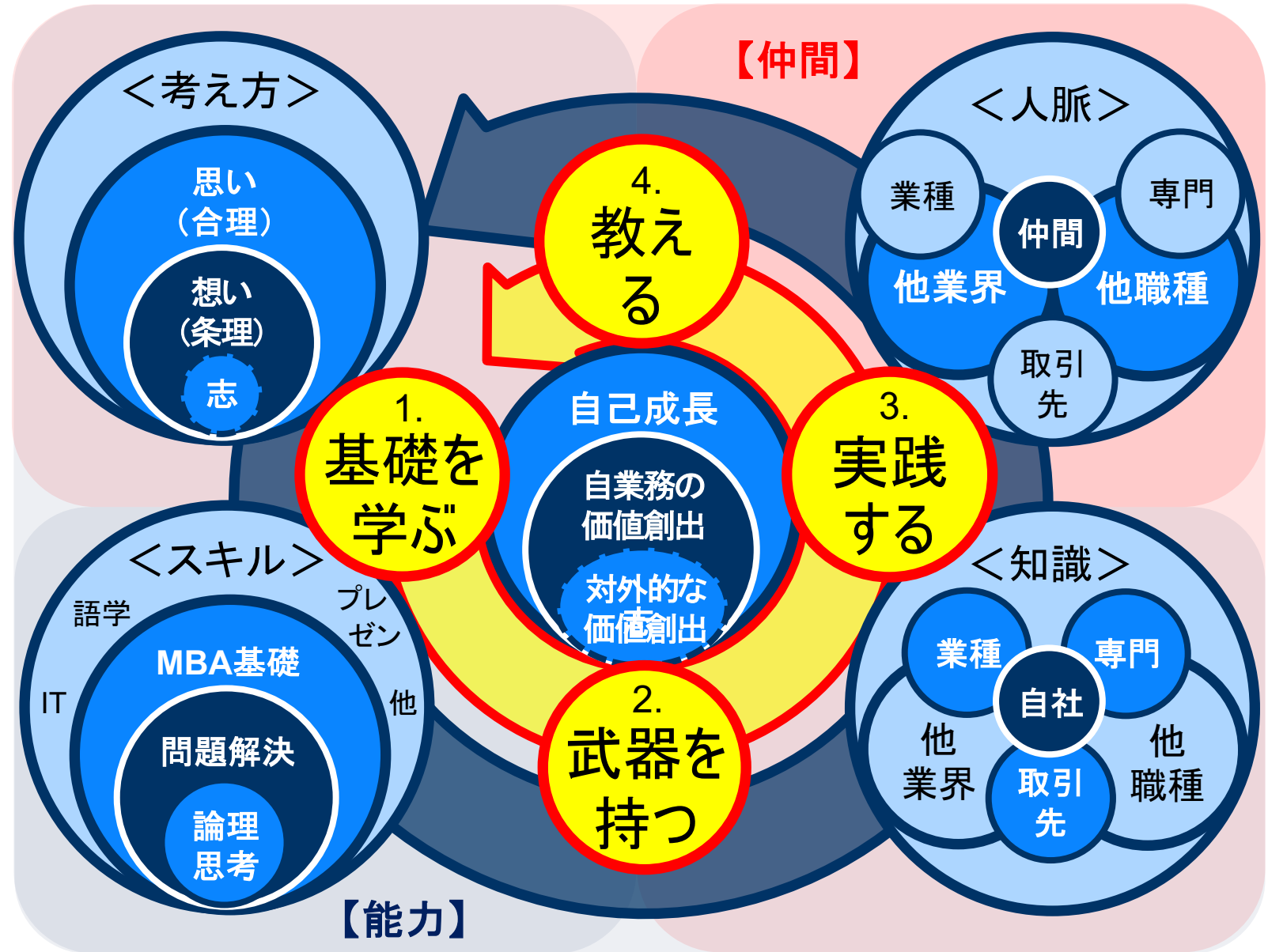
# Co-learning Business School の概要

## ～相互学習理論を回すためのはずみ車

相互学習理論  
(学習サイクルの要素)

要素の定義

- 最重要視
- 重要視
- 卒業後
- 対象
- 手法





# Co-learning Business School の概要

## ～価値創出：卒業の価値

相互学習理論  
(学習サイクルの要素)

要素の定義

最重要視

重要視

卒業後



5. 卒業へ

4. 教える

【仲間】



卒業するまで & 卒業しても周囲から認められるまで、  
転職・独立は禁止 (退会処分)



対外的な  
価値創出



(関わる全ての人)

「誰からも認められる人」



(「できるビジネスパーソン」とは)

「相互学習理論が習慣化している人」

(関わる全ての人)

「誰からも認められる人」



「やりたことができる人」

ご静聴ありがとうございました



「働くを楽しむ」ための「人」と「環境」づくり